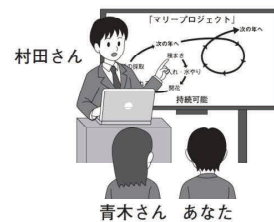


## 国語 2 スピーチをする（活動のアイデアを発表する）

- 2 村田さんは、国語の時間に、学校の活動を地域に広げるアイデアについてスピーチをする学習に取り組んでいます。村田さんは、青木さんとあなたにスピーチのリハーサルを見てもらい、助言を求めています。次の【村田さんのスピーチ】と、〈スライド①〉から〈スライド⑥〉までを読んで、あとの問いに答えなさい。



### 【村田さんのスピーチ】

私は、「マリープロジェクト」をもとにしたアイデアを考えました。

「マリープロジェクト」は、皆さんも知っているとおり、環境委員会が参加者を募って行っている、マリーゴールドを育てる活動です。参加したことがない人も、登下校のとき、きれいに咲いたマリーゴールドの花に、心が和んだこともあるのではないのでしょうか。マリーゴールドは、苗から育てることが多いのですが、この活動では、採取した種から育てています。

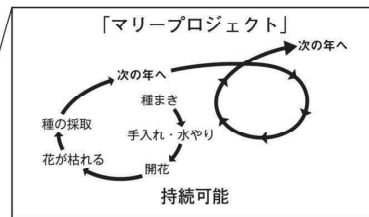
ここで、〈スライド①〉を提示

スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。咲いた花を楽しむだけでなく、手入れをしながら成長を見守ることに魅力を感じ、私は、1年生のときからこの活動に参加しています。

ここで、〈スライド②〉を提示

これは、実際に採取したマリーゴールドの種です。次のシーズンに学校で育てる分を確保したあと、家でも育てたい参加者は種をもらって帰ります。私も、種をもらって、家族と一緒に育てています。ただ、

### 〈スライド①〉



### 〈スライド②〉



みんなが持ち帰ったとしても、採取した種は残ってしまいます。……あ、1年間で採取した種のうち、半分以上は残ってしまうのですよ。そこで、考えたのが、今行っている活動を発展させた「つなごうマリープロジェクト」です。

ここで、〈スライド③〉を提示

このプロジェクトの長所は、まず、残ってしまう種を活用できることです。そして、地域の方にも、花を育てる楽しみを味わってもらえます。しかも、マリーゴールドの種は毎年採取できるので、このプロジェクトも持続可能です。

ここで、〈スライド④〉を提示

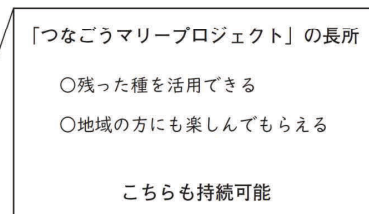
このプロジェクトの内容は、残った種を地域の希望する方にも配るというものです。例えば、地域の方が来校する学校行事や、私たちが参加する地域の行事などで配りたいと思います。育ててくださる地域の方のために、残った種から発芽しやすいものを選び、育て方のポイントを書いたカードと一緒に渡します。

ここで、〈スライド⑤〉を提示

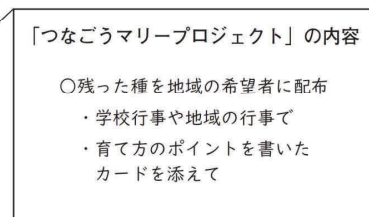
今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思います。

これで、私の発表を終わります。

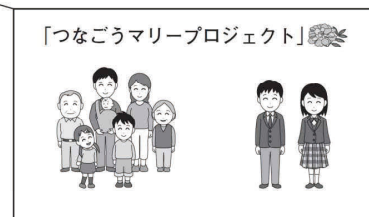
### 〈スライド③〉



### 〈スライド④〉



### 〈スライド⑤〉



一 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の——線部㉔「スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。」のように、スライドを使って話しています。このときの村田さんの話し方を説明したのとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 聞き手の印象に残るように、スライドで意見だけを要約して示しながら、意見とそれを支える根拠を話している。
- 2 聞き手によって経験が違うことを考慮して、スライドで補足の情報を示しながら、話の要点を絞って話している。
- 3 聞き手が興味をもつように、スライドで異なる視点からの情報を示しながら、自分の主張を繰り返し話している。
- 4 聞き手からの質問を想定して、スライドで質問に対する回答を示しながら、自分の立場と考えを話している。

二 【村田さんのスピーチ】の——線部㉕「……あ、1年間で採取した種のうち、半分以上は残ってしまうのですよ。」は、村田さんがその場で考えて発した言葉です。村田さんがこのように発言した理由を説明したのとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 聞き手の反応から、種をもらう参加者が何人くらいいるのか、疑問を感じていると判断したから。
- 2 聞き手の反応から、採取した種が残ってしまう理由を理解することができていないと判断したから。
- 3 聞き手の反応から、種をもらう参加者の目的を理解することができていないと判断したから。
- 4 聞き手の反応から、採取した種がどのくらい残るのか、疑問を感じていると判断したから。

---

三 リハーサルのと、青木さんは、「『つなごうマリープロジェクトの長所』の話と『つなごうマリープロジェクトの内容』の話の順序を入れ替えた方がよいと思います。」という助言をしました。その意図を説明したのとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 村田さんが考えたプロジェクトの長所は、プロジェクトの内容を把握してから聞いた方がよく理解できると考えられるから。
- 2 村田さんが考えたプロジェクトの内容は、残った種の写真を見ながら聞いた方がよく理解できると考えられるから。
- 3 村田さんが考えたプロジェクトの長所は、異なる立場からの意見と関連付けて話した方が伝わりやすいと考えられるから。
- 4 村田さんが考えたプロジェクトの内容は、もともとなった活動の長所の直後に話した方が伝わりやすいと考えられるから。

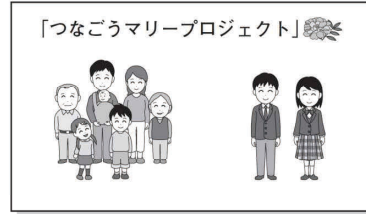
四 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の [ ] の内容をより分かりやすく伝えるために、〈スライド⑤〉を工夫したいと考え、あなたに助言を求めています。あなたなら、どのような助言をしますか。あとの【工夫の仕方】のAからCまでの中から1つ選び（どの【工夫の仕方】を選んでもかまいません。）、条件1と条件2にしたがって、村田さんへの助言を書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【村田さんのスピーチ】の [ ]

今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思いませんか。

〈スライド⑤〉



【工夫の仕方】

- A 〈スライド⑤〉に、言葉を加える。
- B 〈スライド⑤〉のイラストを修正したり、イラストを付け加えたりする。
- C AとBとを組み合わせる。

条件1 選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するかを、具体的に書くこと。

条件2 条件1で工夫したことにより、どのように分かりやすくなるかについて、[ ]の内容を具体的にに取り上げて書くこと。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【工夫の仕方】

A	B	C	← 選んだ【工夫の仕方】の記号を塗りつぶしなさい。

## 出題の趣旨

スピーチで考えを提案する場面において、次のことができるかどうかをみる。

- ・ 資料や機器を用いた話し方の工夫を捉えること
- ・ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること
- ・ 自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫すること
- ・ 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること

「A話すこと・聞くこと」の学習においては、「話題の設定、情報の収集、内容の検討」、「構成の検討、考えの形成（話すこと）」、「表現、共有（話すこと）」、「構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有（聞くこと）」、「話合いの進め方の検討、考えの形成、共有（話し合うこと）」に関する各指導事項が示す資質・能力を身に付けることができるように、意図的・計画的に指導を重ねることが大切である。

言語活動例の各学年のAには、紹介や報告、説明や提案、主張など、話し手がある程度まとまった話をし、それを聞いて、聞き手が質問や意見、助言、評価などを述べる活動が例示されている。こうした言語活動を行う際には、何のために、誰を対象に、どのような状況で話すのかを具体的に考え、設定した話題や検討した内容が、それらに合っているかどうかを判断することが必要である。また、自分の立場や考えが明確になるように話の構成を考えることを通して、自分の考えを形成することや、それが聞き手に分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるよう指導することが重要である。スピーチで考えを提案するのであれば、提案が、聞き手に何らかの行動を促すために自分の考えを示し、意見を求めるものであることを踏まえ、聞き手の話の受け止め方や理解の状況を捉えて表現を工夫したり、資料や機器を用いて自分の考えが分かりやすく伝わるように工夫したりすることがより重要になる。

本問では、国語の授業において、学校の活動を地域に広げるアイデアについて提案するスピーチをするに当たり、友達にリハーサルを見てもらい、助言を求める場面を設定した。スライドを使った話し方の工夫や聞き手の反応を踏まえた話し方の工夫を捉えるとともに、自分の考えが分かりやすく伝わるように、話す事柄の順序を考えたり、スライドを用いて表現を工夫したりすることを求めている。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ア 紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動。

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ア 説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする活動。

(参考)

〔第3学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ア 提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動。

## 設問一

### 趣旨

資料や機器を用いた話し方の工夫を捉えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における内容

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 《表現、共有（話すこと）》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答	
②	1	1と解答しているもの	38.2	
	2	2と解答しているもの	38.3	◎
	3	3と解答しているもの	18.0	
	4	4と解答しているもの	5.2	
	99	上記以外の解答	0.0	
	0	無解答	0.3	

### 2. 分析結果と課題

○ 解答類型1、3、4の反応率の合計は61.4%である。このように解答した生徒は、資料や機器を用いた話し方の工夫を捉えることに課題がある。

解答類型1の生徒は、【村田さんのスピーチ】の内容を意見と根拠とに整理して捉えることができず、その内容を要約したものがスライドに示されていると誤って捉えたものと考えられる。また、村田さんが、意見とそれを支える根拠が聞き手の印象に残るように話していると誤って捉えたものとも考えられる。

解答類型3の生徒は、——線部㊦で「次の年」が繰り返されていることに着目し、村田さんが、自分の主張を繰り返して、聞き手が興味をもつように話していると誤って捉えたものと考えられる。また、スライドに示された内容が、異なる視点からの情報を示したものと誤って捉えたものとも考えられる。

### 3. 学習指導に当たって

#### 資料や機器を用いた話し方の工夫を考える

話し方の工夫をする際には、目的や状況、相手に応じて、話し手の考えが正確に伝わり、聞き手の理解をより深めるようにすることが重要である。資料や機器を用いるのは、話の要点や根拠を明らかにしたり、説明を補足したり、中心となる事柄を強調したりするなど、聞き手に分かりやすく伝えるためである。これらを踏まえて、伝えたい内容を適切に伝えるためには、どのような資料や機器を、どのように用いればよいのかを考えることができるよう指導することが大切である。

例えば、スピーチにおける資料や機器の用い方に着目し、どのような資料を示して、どのように話し方の工夫がされているかを確認する学習活動が考えられる。具体的には、意見とそれを支える根拠を話す際に、スライドで意見だけを要約して示すことで、自分の意見が聞き手の印象に残るようにしたり、聞き手によって経験が違うことを考慮してスライドで補足の情報を示しながら話の要点を絞ったりすることなどが考えられる。どのような話し方の工夫がされているかを捉える際には、話の内容、目的や状況、相手に応じて様々な資料や機器を用いた話し方があることを理解した上で、その話し方が聞き手にとってどのような効果があるのかについて考えることが大切である。

## 設問二

### 趣旨

相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 《表現、共有（話すこと）》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
②	二	1	1と解答しているもの	4.8	
		2	2と解答しているもの	10.1	
		3	3と解答しているもの	6.7	
		4	4と解答しているもの	78.1	◎
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.3	

### 2. 分析結果と課題

- 解答類型1～3の反応率の合計は21.6%である。このように解答した生徒は、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題がある。解答類型2の生徒は、——線部④について、直前の「ただ、みんなが持ち帰ったとしても、採取した種は残ってしまいます。」を聞いた相手が、種が残ってしまう理由を理解することができていないと村田さんが判断したため、その理由を述べたものと誤って捉えたものと考えられる。

### 3. 学習指導に当たって

#### 相手の反応を踏まえながら、表現を工夫する

相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する際には、うなずきや表情などの聞き手の反応から、話の受け止め方や理解の状況を捉えることが大切である。自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫するには、聞き手の興味・関心、情報量などを考慮しながら、聞き手に応じた語句を選択したり、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、言葉遣いなどに注意したりするなどして、相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫することが重要である。

例えば、問いかけに対して聞き手がどのように反応するかを予想して、聞き手の反応に応じて話すための準備をする学習活動が考えられる。その際、聞き手の反応に応じて、補足の情報を加えて詳しく説明したり、話の一部を省略したりするなど、複数の伝え方を想定したメモを作成することなどが考えられる。その上で、聞き手の反応を見ながら話して、自分が準備した工夫が有効であったか確かめることも大切である。

### 設問三

#### 趣旨

自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における内容

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

イ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。 《構成の検討、考えの形成（話すこと）》

#### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
②	三	1	1と解答しているもの	73.7	◎
		2	2と解答しているもの	6.4	
		3	3と解答しているもの	8.5	
		4	4と解答しているもの	10.7	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.6	

#### 2. 分析結果と課題

○ 解答類型2～4の反応率の合計は25.6%である。このように解答した生徒は、自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫することに課題がある。

解答類型4の生徒は、「つなごうマリープロジェクトの長所」の話と「つなごうマリープロジェクトの内容」の話の順序を入れ替えることで、話の展開がどのように変わるかを具体的に捉えることができていないものと考えられる。また、「つなごうマリープロジェクトの長所」が、もとになった活動の長所であると誤って捉えたものと考えられる。

#### 3. 学習指導に当たって

##### 論理の展開に注意して、話の構成を工夫する

自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫する際には、話を構成する部分について確かめるだけでなく、話の全体を俯瞰して、聞き手を意識した論理の展開を工夫することが重要である。

例えば、話す事柄の順序を入れ替えた複数のスピーチを比較して、聞き手にとってどれが最も筋道の通った話の進め方になるかを検討する学習活動が考えられる。このような学習を行う際に1人1台端末を活用することで、話す事柄の順序を容易に変更することができるため、複数のスピーチを比較する際に有効である。

## 設問四

### 趣旨

資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における内容

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 《表現、共有（話すこと）》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答	
②	四 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【工夫の仕方】のA、B、Cのいずれか一つを選んで、その記号を塗り潰している。 ② 選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するかを具体的に書いている。 ③ 工夫することで、どのように分かりやすくなるかを書いている。 ④ ③について、「-----」の内容を適切に取り上げて書いている。 ~~~~~ (正答例) ・A スライドの下の余白に、「花を育てる楽しみを地域へ」と書き加える。そうすることで、花を育てる楽しみが地域にも広がることが強調されて伝わりやすくなる。 ・B 地域の人たちと中学生が、笑顔でマリーゴールドの手入れをしているイラストに変更すると、「学校と地域が、マリーゴールドでつながった」ときの様子が、視覚的にもよく伝わると思います。 ・C 中学生が地域の方に種を手渡しているイラストに修正して、その下に、「花を育てる楽しみを地域へ」と書き加えると、残った種を活用した活動で花を育てる楽しみを広げようとしていることが、より分かりやすくなると思うよ。			
	1	条件①、②、③、④を満たして解答しているもの	23.4	◎
	2	条件①、②、③を満たし、条件④を満たさないで解答しているもの	22.0	
	3	条件①、③、④を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	3.3	
	99	上記以外の解答	47.3	
0	無解答	4.0		

## 2. 分析結果と課題

- 解答類型2について、具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

・ A

「マリーゴールドをみんなで育てよう」などを入れた方がいいと思います。これで何をやるプロジェクトなのかがすぐに分かるようになると思います。

・ B

もう少しマリーゴールドのイラストを増やす。マリーゴールドのイラストを付け加えることで想像が付き、分かりやすくなる。

このように解答した生徒は、選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するのかを具体的に書くことと、工夫することでどのように分かりやすくなるのかを書くことはできている。一方で、【村田さんのスピーチ】と〈スライド⑤〉とを結び付けて、        の内容のどの部分をより分かりやすく伝えたいのかを明確にすることができていない。

## 3. 学習指導に当たって

### 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する

資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する際には、伝えたい内容が適切に伝わるよう効果的に資料や機器を活用することが重要である。その際、話の内容を踏まえ、話の要点や根拠が明らかになっているか、説明が不足していないか、中心となる事柄が強調されているかなど、自分の考えが聞き手に分かりやすく伝わっているかを確認し、資料や機器の使い方について検討することが大切である。

例えば、話の内容が十分に踏まえられていないスライドの改善案を検討する学習活動が考えられる。具体的な授業のアイデアの一例を次に示す。

授業アイデア例 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する

【本アイデア例と関連する問題及び学習指導要領における内容】

設問四 正答率 23.4%

〔第2学年〕思考力、判断力、表現力等 A

ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

教材

● 令和7年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語2（改変）

学習の流れ

第1時

① 学習の見通しをもつ。



教師

スライドなどの資料を使って話をするときには、自分の考えが伝わるように工夫することが大切です。今回の授業では、スライドをどのように使うと効果的かを検討しながら、実際にスピーチをすることを通して、自分の考えが分かりやすく伝わるスピーチにするための表現の工夫について考えてみましょう。

② 令和7年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語2（改変）を読み、〈スライド②〉から〈スライド④〉が、どのような役割か考える。

※ 〈スライド①〉〈スライド⑤〉は授業で検討するため、生徒には提示しない。

〔生徒に示す教材の例〕

※ p.51参照

〈スライド②〉は、マリーゴールドの種の写真が示されています。それによって、マリーゴールドの種が実際にどのようなものか分かります。



③と④は似ていますね。



③と④は、「つなごうマリープロジェクト」の長所や内容を箇条書きで示しています。それによって、大事なポイントが印象に残り、話の内容が分かりやすくなります。

【村田さんのスピーチ】

私は、「マリープロジェクト」をもとにしたアイデアを考えました。「マリープロジェクト」は、皆さんも知っているとおり、環境委員会が参加者募って行っている、マリーゴールドを育てる活動です。参加したことがない人も、登下校のとき、きれいに咲いたマリーゴールドの花に、心がゆんだこともあるのではないでしょうか。マリーゴールドは、苗から育てることが多いのですが、この活動では、採取した種から育てています。

ここで、〈スライド①〉を提示

スライドに示したように、が、この活動の大きな特徴です。咲いた花を楽しむだけでなく、手入れをしながら成長を見守ることに魅力を感じ、私は、1年生のときからこの活動に参加しています。

ここで、〈スライド②〉を提示

これは、実際に採取したマリーゴールドの種です。次のシーズンに学校で育てる分を確保したあと、家でも育てたい参加者は種をもらって帰ります。私も、種をもらって、家族と一緒に育てています。ただ、みんなが持ち帰ったとしても、採取した種は残ってしまいます。……あ、1年間で採取した種のうち、半分以上は残ってしまうのですよ。そこで、考えたのが、今行っている活動を発展させた「つなごうマリープロジェクト」です。

ここで、〈スライド③〉を提示

このプロジェクトの長所は、まず、残ってしまう種を活用できることです。そして、地域の方にも、花を育てる楽しさを味わってもらえます。しかも、マリーゴールドの種は毎年採取できるので、このプロジェクトも持続可能です。

ここで、〈スライド④〉を提示

このプロジェクトの内容は、残った種を地域の希望者の方にも配るというものです。例えば、地域の方が来校する学校行事や、私たちが参加する地域の行事などで配りたいと思います。育ててくださる地域の方のために、残った種から発芽しやすいものを選び、育て方のポイントを書いたカードと一緒に渡します。

ここで、〈スライド⑤〉を提示

今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思いますもんか。これで、私の発表は終わります。

1枚目のスライド

5枚目のスライド

③ 〈スライド①〉の候補をもとに、スライドのもつ役割について考えを広げる。



〈スライド①〉の候補として「A」「B」「C」があります。それぞれのスライドの内容をグループで確認し、そのスライドを使った場合、【村田さんのスピーチ】の空欄にどのような言葉が入るかも考えましょう。

〔〈スライド①〉の候補〕

Q:「マリープロジェクト」の魅力は?

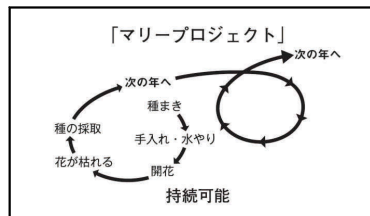
A: 咲いた花を楽しむ  
+  
手入れをしながら成長を見守る

A「Q & Aで示す」

「マリープロジェクト」に参加していて感じるよさは?(複数回答)

1位 学校が明るくはなやかに(80%)  
2位 友達と一緒に楽しく活動できること(75%)  
3位 手入れをしながらマリーゴールドの成長を見守ることができること(60%)

B「アンケート結果をランキング形式で示す」



C「図で示す」

〔グループで話し合っている場面の例〕

AのスライドはQ & Aの形になっていることで、話のポイントが的確に伝えられますね。「2つの魅力があること」を話すと、答えの部分が印象に残るようになると思います。



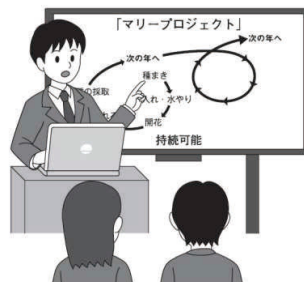
Bのスライドの情報は、自分だけではなく他の人の意見も分かってよいですね。「参加すると様々なよさを感じられること」を話すと、相手に活動のよさが伝わりやすくなりますね。

Cのスライドは、持続可能ということが、図で伝わりやすくなっています。「次の年へつながる持続可能な活動であること」を話すとよいですね。

〔生徒が発表している様子〕



それぞれのスライドによさがありましたね。では、実際にグループの中でAからCを分担して発表してみましょう。発表を聞きながら、自分たちが考えたスライドのよさがスピーチに表れているか、聞き手の立場からも確認しましょう。



※ 発表を通して、確認したことや新たに気付いたことをさらに交流する。



この時間では、スライドの役割について考えましたね。スライドを示しながらスピーチをする際には、スライドのもつ役割を考えながら、話す内容を工夫することが重要です。また、実際にスピーチを行いながら、スライドの内容がよりよいものになるように改善していくことが大切です。

第2時

- ④ 5枚目のスライドについて、村田さんの考えが聞き手に伝わるように、各自でスライドを作成する。

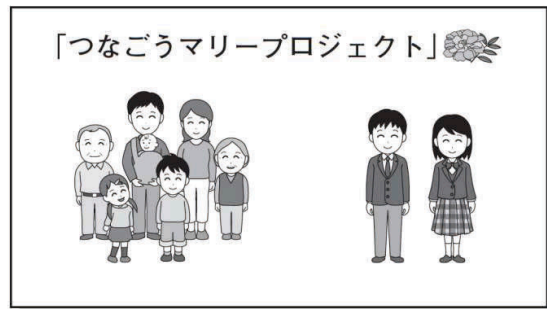


前は、何のためにスライドを用いるのかを考えて使うことが重要だということを知りました。今回の授業では、それを踏まえて、1人1台端末を使って実際にスライドを作ります。村田さんのスピーチでは、スライドを使いながら「つなごうマリープロジェクト」についての説明をしています。村田さんに代わって5枚目のスライドを作ってみましょう。

〔作成途中のスライドの例〕



話し手の伝えたい内容がより適切に伝わるスライドにするために、工夫の仕方を考えていきましょう。次に示したのは、作成途中のスライドの例です。どのように工夫したらよいでしょうか。



スライドの下の空いているところに、「花を育てる楽しみを地域へ」と書き加えるとよいと思います。スピーチで話す「花を育てる楽しみが地域にも広がります」ということが強調されて、伝わりやすくなるからです。



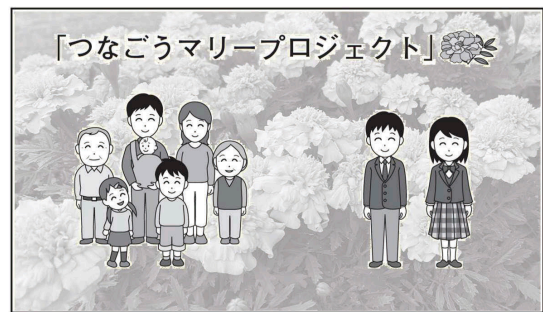
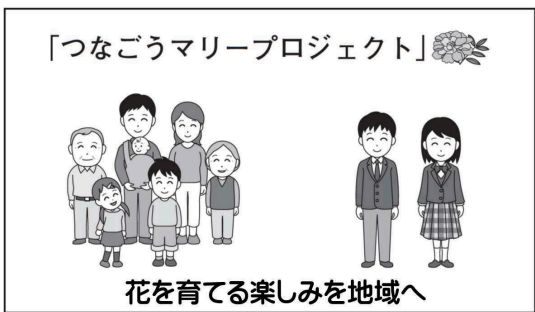
スライドの背景をマリーゴールドの写真にすることで、「学校と地域が、マリーゴールドでつながる」という、村田さんの伝えたいことが視覚的に伝わると思うよ。



スライドを作成するときは、伝えたい内容が効果的に伝わるように工夫することが大切です。

- ⑤ 各自でスライドの内容を改善する。

〔改善したスライドの例〕



- ⑥ 修正したスライドを〈スライド⑤〉に当てはめて、グループ内でスピーチをし、スライドの工夫によってどのような効果があったか話し合う。



スライドを作るときにどのように工夫しましたか。また、その工夫によって、どのような効果があったかについて具体的に話し合しましょう。

〔グループで話し合っている場面の例〕

私は、〈スライド⑤〉にマリーゴールドの写真を入れる工夫をしました。どうでしたか？



実際の写真があることで、活動のよさが、イメージしやすいと感じました。

スピーチの最後に話していた、すてきな活動だということが分かりやすくなりますね。

- ⑦ 学習を振り返る。



スライドなどの資料を使って話をするときには、伝えたい内容に沿って資料や機器が活用されているかどうかを確認することが大切です。

また、資料や機器が効果的に使えているかを検討する際には、実際にスピーチを行いながら、話の内容やスライドがよりよいものになるように改善していくことが重要です。

#### 振り返りの観点の例

- これまでに学習したことで、この単元の学習に生かしたことはどのようなことか。
- スライドを示しながらスピーチをする際に、どのような役割を意識してスライドを作成したか。
- 資料や機器を使って発表する際、自分の考えが分かりやすく伝わるように、今後どのような表現の工夫をしたいか。

#### 【活用する際のポイント】

- 総合的な学習の時間など、他教科等の学習と連携し、国語の授業で学んだことを生かすことが有効である。

〔生徒に示す教材の例〕

【村田さんのスピーチ】

私は、「マリープロジェクト」をもとにしたアイデアを考えました。  
 「マリープロジェクト」は、皆さんも知っているとおり、環境委員会  
 が参加者を募って行っている、マリーゴールドを育てる活動です。参加  
 したことがない人も、登下校のとき、きれいに咲いたマリーゴールドの  
 花に、心が和んだこともあるのではないのでしょうか。マリーゴールドは、  
 苗から育てることが多いのですが、この活動では、採取した種たねから育て  
 ています。

ここで、〈スライド①〉を提示

スライドに示したように、  
 ことが、この活動の大きな特徴です。咲いた花を楽しむだ  
 けではなく、手入れをしながら成長を見守ることに魅力を感じ、私は、  
 1年生のときからこの活動に参加しています。

ここで、〈スライド②〉を提示

これは、実際に採取したマリーゴールドの種です。次のシーズンに  
 学校で育てる分を確保したあと、家でも育てたい参加者は種をもらって  
 帰ります。私も、種をもらって、家族と一緒に育てています。ただ、

みんなが持ち帰ったとしても、採取した種は残ってしまいます。……あ、  
 1年間で採取した種のうち、半分以上は残ってしまうのですよ。そこで、  
 考えたのが、今行っている活動を発展させた「つなごうマリープロジェク  
 ト」です。

ここで、〈スライド③〉を提示

このプロジェクトの長所は、まず、残ってしまう種を活用できること  
 です。そして、地域の方にも、花を育てる楽しみを味わってもらえます。  
 しかも、マリーゴールドの種は毎年採取できるので、このプロジェクト  
 も持続可能です。

ここで、〈スライド④〉を提示

このプロジェクトの内容は、残った種を地域の希望する方にも配る  
 というものです。例えば、地域の方が来校する学校行事や、私たちが  
 参加する地域の行事などで配りたいと思います。育ててくださる地域  
 の方のために、残った種から発芽しやすいものを選び、育て方のポイント  
 を書いたカードと一緒に渡します。

ここで、〈スライド⑤〉を提示

今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、  
 花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールド  
 でつながったら、すてきだと思いませんか。  
 これで、私の発表を終わります。

〈スライド①〉



〈スライド②〉



〈スライド③〉

「つなごうマリープロジェクト」の長所

- 残った種を活用できる
- 地域の方にも楽しんでもらえる

こちらも持続可能

〈スライド④〉

「つなごうマリープロジェクト」の内容

- 残った種を地域の希望者に配布
  - ・学校行事や地域の行事で
  - ・育て方のポイントを書いたカードを添えて

〈スライド⑤〉

